

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		憩いの水辺創出				整理番号	584		枝番号			
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221010		連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	611	
係名				施設整備係				上位施策名		No		
予算事業名				憩いの水辺創出		コード	60100		水辺とみどりの保全創出		12	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第281条							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 河川法第16条							
	区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)流域の居住者及び利用者				(3) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)区域において、人が水に触れ、憩うことのできる水辺環境を創出する。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 区民生活にやすらぎや潤いを与え、生活活力の増進を図る。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 河川環境整備延長				(1) 河川環境整備率=(河川環境整備延長/河川環境整備対象延長)×100								
(2) 河川内湧水整備箇所				(2) 河川内湧水整備率=(河川内湧水整備箇所/河川内湧水整備対象箇所)×100								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績	計画		年度			
指標	活動指標(1)		m	24,800	0	0	0	0	38,340	0.0		
	活動指標(2)		箇所	0	0	1	1	1	2	50.0		
	成果指標(1)		%	65	0	0			100	0.0		
	成果指標(2)		%	0	0	50	50	100				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	163	4,975	7,930	5,203	6,530	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指数(1)の目標値は累計。 13年度実績値はこれまでの累計数値。 整備計画により、河川内湧水施設を2年間で2箇所整備する。 14年度1箇所、15年度1箇所の整備を行った。			
	(内)委託費		千円		4,935	7,500	4,788	6,000				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.25	0.35	0.35	0.35				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,698	2,249	3,148	3,148	3,148				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	2,861	7,224	11,078	8,351	9,678				
	単位あたりコスト ÷		円	115								
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	2,861	7,224	11,078	8,351	9,678					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		活動指標(2)の15年度達成率%		100.0	15年度予算執行率%	65.6			
			予算現額のうち、工事請負費はほぼ計画どおり執行した。なお、委託料の修景整備設計委託は外注せず、係内で対応した。									
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			整備について、コスト削減を考慮した工法を検討した。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	河川沿いの空間を親水性のある散歩道として整備を行った「親水プロムナードの整備」事業を盛り込んだ13年度からの新規事業であり、13年度は研究・調査を行い、14年度は人がふれあえる水辺環境の創出について整備計画の作成委託を行った。また、15年度は整備計画に基づき、河川内湧水施設の整備を1箇所行った。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	河川について、治水・利水の役割だけでなく、貴重な水とみどりの空間として住民に潤いを与え、様々な生物の多様な生息・生息環境を形成するものとして、その役割は大きく見直されている。みどりや水の資源環境を大切にする区民の意識の高まりを考慮しつつ、水と身近に親しめる環境づくりを積極的に推進することが期待されている。
	今後の予測	水辺は、貴重な水とみどりの空間として地域社会に潤いを与えるとともに、まちの景観形成や余暇の有効活用などにおいて、重要な役割を果たしている。特に最近では、まちづくりと一体的に水辺空間の整備を図ることが社会的要請となっている。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 水辺空間をよりみどりや水に親しめる環境に移行することは、失われつつある自然環境の保全・創造に大きく貢献し、区民の自然を大切にする意識をより高めていくとともに生活活力の増進が図れる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 河川内湧水施設整備に関わる工事請負(湧水施設整備工事)
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 設計・施工にあたり、工法やコスト削減等について検討する。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 環境づくりにおいて、居住者や利用者を限定することはできないため、受益者負担は不相当である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 定期的に工法やコスト削減に関する検討を重ね、改善に努めている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 まちづくりと一体的に水辺空間の整備を図ることが社会的要請となっているため、具体的な事業計画に向けて検討を行う。また、整備についてはよりコスト削減を考慮した工法を検討する。さらに、人と自然との豊かなふれあいに対する区民ニーズを考慮しつつ、ランニングコストの低減について検討することが重要である。						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 整備にあたり、整備手法や財源確保(都交付金の導入等)を明確にする必要がある。						
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 親水施設整備(護岸・河床緑化、キロポスト整備、護岸・河床補修、施設の面的整備等)として、河川機能の保全・充実を図るため、河川補修計画策定委託を実施予定につき、予算増が見込まれる。(東京都・特別区事務処理特例交付金の導入が見込まれる。)							

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの情報発信				整理番号	637		枝番号			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	3464		昨年度整理番号	667	
係名				みどりの計画係				上位施策名		No		
予算事業名				みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出		12	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		48年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどり条例 第2条		(2)		(3)	
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		全ての区民					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				みどりの新聞、緑化パンフレット、緑化副読本など、様々な印刷物の発行をととして地域緑化の普及啓発を図る。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区民の地域緑化への関心を高める。			
	活動指標名(式)				(1) みどりの新聞発行部数/年 (2) 緑化パンフ・緑化副読本発行部数/年		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) みどりの新聞閲覧率 = 町会加入世帯数 / 区世帯数 (2) 緑化副読本配布率 = 配布数 / 印刷部数			
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%			
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		部	36,000	52,000	68,000	51,000	85,000				
	活動指標(2)		冊	3,600	8,600	5,600	3,600	5,600				
	成果指標(1)		%	60	58	57	57	56				
	成果指標(2)		%	96	97	97	97	97				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,657	2,484	6,798	4,530	5,263	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 15年度発行部数内訳 みどりの新聞 17000部×3回 = 51000部 緑化副読本3600部 16年度は「みどりのリサイクル計画」「みどりのベルト計画」の普及啓発のためみどりの新聞の発行を5回/年予定。			
	(内)委託費		千円	0	0	3,780	2,656	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.40	0.60	0.40	0.40				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,598	3,598	5,396	3,598			3,598	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 ++		千円	6,255	6,082	12,194	8,128	8,861				
	単位あたりコスト ÷		円	174	117	179	159	104				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	6,255	6,082	12,194	8,128	8,861					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	75.0		活動指標(2)の15年度達成率%	64.3		15年度予算執行率%	66.6			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		みどりの新聞の発行は区民との協働による発行のため準備・編集作業などの遅延による。緑化副読本の委託は入札による落差。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	みどりの新聞は当初の職員の作成から平成14年度より区民との協働による発行を行っている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	行政からの発信に加え広くみどりの区民活動の主体となるような情報の発信の場として欲しいとの要望もある。
	今後の予測	みどりに関する情報は、緑化に関する情報の提供だけではなくみどりの保全や維持管理に関して多面的な情報の提供が求められてゆくことが予測される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 今後の区のみどりの施策については区民の協力・理解なしには進められない。その周知の手段としての貢献度は今後ますます大きくなる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由: 情報の発信については区の責務である。その手段、方法については住民と役割分担を進めることが重要である。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: みどりの新聞の取材、編集について「みどりのボランティア杉並」が行っている。また配布については町会の回覧をお願いしている。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 協働による情報の発信の拡充により効果をあげることは可能である。質の高い情報の提供を行う。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民向けのパンフレットであり取材、編集もボランティアの力で行っており概ね印刷費のみである。副読本についても改定は5年毎である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 普及啓発として区民参加を勧めながら事業費としてはその多くが印刷費である。編集などについてはコストをかけていない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりの施策については都市化の進行とともに多種多様な要望が増加することが予測される。これに対応するための「みどりの情報の発信」は施策の基礎として着実に進めてゆくことが必要である。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 情報を発信しそれが効果をあげるためには質の高いものが要求される。協働の実施についてはそのことを充分配慮することが必要である。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 部数の発行の増加などによる情報発信の効果ではなく、協働による質の高い情報の発信を目標とする。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの基金の活用				整理番号	638		枝番号	
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3464		昨年度整理番号	
係名					みどりの計画係			上位施策名	No	
予算事業名					みどりを育てる			コード	63900	
					水辺とみどりの保全創出				12	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		15年度		根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの基金条例			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区みどりの基金運営要綱			
	緑化活動を行う全ての区民や団体						(3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区民の緑化活動への助成 緑化活動を行う人材育成に關すること 民有の樹木保全に關すること みどりの普及啓發に關すること その他みどりの保全・創出に關すること		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 緑化活動を行う人材の育成をはじめとするみどりの保全及び緑化の推進を図る。			
活動指標名(式)				(1) 活動助成予定件数(団体)		(2) みどりのボランティア参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		
						(1) 活動助成応募件数(団体)		(2) 助成団体構成員数		
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		団体			10	4	10		
	活動指標(2)		人			100	80	150		
	成果指標(1)		団体			20	4	20		
	成果指標(2)		人			100	54	100		
総事業費・コスト把握	事業費		千円			720	129	720	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 助成については要綱上は個人でもかまわないが、標準では5人の団体で想定する。	
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0		
	職員数(正規 非常勤)		人			0.10	0.30	0.30		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	899	2,698	2,698		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	0	1,619	2,827	3,418		
	単位あたりコスト ÷		円			161,900	706,750	341,800		
	財源	受益者負担分		千円			0	0		0
		国・都等からの支出金		千円			0	0		0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	1,619	2,827	3,418			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	40.0	活動指標(2)の15年度達成率%	80.0	15年度予算執行率%	17.9		
			みどりの基金緑化活動助成要綱が平成16年2月19日より適用のため周知期間が短かったため。又助成額が活動費の1/2でありボランティア活動者にも1/2の負担を求める件数、金額とも伸びなかった。							
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年度よりの事業のため経年変化はない。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	「みどりのボランティア杉並」などボランティア活動の高まりとともに区民活動に関する助成や支援の要望が多く出されている。
	今後の予測	緑化活動に関してきめの細かい支援とともに財政的な援助の要望が増えると予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	基金による緑化活動の支援は区民や企業などの力を集めるため区の果たす役割は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	基金の活用については行政の主体の適正な執行が求められる。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	杉並区みどりの基金緑化活動助成金交付要綱に基づき緑化活動にたいしてその活動費の1/2の助成をおこなう。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	緑化活動助成の募集方法の改革などで活性化する。又助成率の変更についても検討する。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	助成についてはその活動費の1/2の助成であり、助成を受ける緑化活動者もその1/2を負担している。ただ上記の成果の向上とも関連するがボランティア活動に対して1/2負担が適正かどうかの検討が必要である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	ボランティアの活動者にもその活動について1/2の負担を求めている。審査会のあり方などは検討の余地がある。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ボランティア杉並など緑化活動の支援をみどりの基金による支援に一本化することで適正な事業運営が可能となる。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 基金による助成の審査コストを軽減することが必要である。 これは助成活動団体を増やし杉並区のみどりの育成に協力する活動が増えることでコストは軽減する。							
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 現状の取り組みの中で活動を活発化する。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの講座の開催				整理番号	639		枝番号					
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	内線3463		昨年度整理番号	669			
係名					みどりの計画係					上位施策名		No		
予算事業名					みどりを育てる					コード		63900		
					水辺とみどりの保全創出							12		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第2条							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	全区民				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
広報等で参加者を募集し、区内の施設や公園等を会場に緑化に関する講座を開催する。				講座をととして、区民のみどりに関する知識などを高める。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 講座開催数(コマ数)				(1) 参加人数										
(2) 募集人数				(2) 参加率 = 参加人数 ÷ 募集人数										
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績	年度							
指標	活動指標(1)		回	8	16	20	7	12						
	活動指標(2)		人	520	238	600	336	600						
	成果指標(1)		人	379	174	600	200	600						
	成果指標(2)		%	73	73	100	60	100						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	572	518	1,853	366	476	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.50	0.40	0.40	0.40						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,497	4,497	3,598	3,598				3,598		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0		
	総事業費 + +		千円	5,069	5,015	5,451	3,964	4,074						
	単位あたりコスト ÷		円	633,625	313,438	272,550	566,286	339,500						
	財源	受益者負担分		千円	20		225	42				50		
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	20	0	225	42				50		
差引:一般財源 -		千円	5,049	5,015	5,226	3,922	4,024							
受益者負担比率 ÷		%	0.4	0.0	4.1	1.1	1.2							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	35.0	活動指標(2)の15年度達成率%	56.0	15年度予算執行率%	19.8	依頼する講師などの関係から、開催講座数が増やせなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			講座の講師にみどりのボランティア杉並の会員から協力を得た。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	園芸を趣味にする区民も多いが、温暖化などの環境問題が地球規模の問題に広がりつつある現在、身近な緑化に対する関心も高まってきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	講座開催の希望者が多い。
	今後の予測	園芸技術の講座に関しては、受講希望者が益々多くなっていくと考える。また、園芸だけでなくボランティア活動や生活環境の改善など広範な講座が求められていると予想している。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 講座を開催することにより、地域緑化への関心を高めることができる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 講座の開催にあたり、一部の講座についてはみどりのボランティア杉並の会員に講師を依頼している。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 開催する講座について講師の依頼だけではなくボランティアを含めての講座の企画をすることで活性化を図る。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 必要に応じて教材等の実費分を参加者より徴収している。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 講座は講師謝礼程度の必要最低限の経費で実施している。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 緑化知識・技術の普及を基本とするが、区民ニーズを適切に把握し、今求められている内容で実施する。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 講師の確保、講座の内容によっては、みどりのボランティアとの協働をさらに進める。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 現状の規模で実施する。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのイベントの開催				整理番号	640		枝番号				
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	内線3463		昨年度整理番号	670			
係名					みどりの計画係		上位施策名			No			
予算事業名					みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出	12		
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第2条						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)						
	全区民						(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				広報等でPRするなどして、みどりに親しむイベントを開催する。 イベントへの参加は当日直接会場へ来ていただく方法を基本とする。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) みどりをテーマにしたイベントをとおして、みどりへの関心を高めることや、区民同士が交流できる場を設ける。						
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) イベント開催数						(1) 参加人数							
(2) イベント参加受入れ人員数						(2) 参加率							
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績	計画		年度		
指標	活動指標(1)			1	1	1	1	1	1				
	活動指標(2)			20	42	100	200	200	200				
	成果指標(1)			17	42	100	200	250					
	成果指標(2)			85	100	100	100	125					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4	12	92	86	88		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 15年度「みどりのイベント」(6/1~8 井草森公園ほか) キバナコスモスの種まき 園芸相談 ペンダント作り 植物観察会 美化活動 みどりの講座			
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.20	0.40	0.40					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,698	2,698	1,799	3,598	3,598				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	2,702	2,710	1,891	3,684	3,686					
	単位あたりコスト ÷		円	2,702,000	2,710,000	1,891,000	3,684,000	3,686,000					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	2,702	2,710	1,891	3,684	3,686						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	200.0	15年度予算執行率%	93.5	ふるさとまつり等の機会をとらえ、区民向けのイベントを行ったが、みどりと親しめる内容の催しは益々関心が高まっている。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			イベントの一部をみどりのボランティア杉並の会員にお願いした。参加者も満足されていたので、今後さらに進めていく。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区民に気軽にみどりに親しんでもらえる機会として「みどりのイベント」を開催しているが、参加型のイベントとして益々関心が高まってきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	みどりのイベントへの参加者にはたいへん好評であった。
	今後の予測	環境問題への関心の高まりを受け、イベント内容を充実する事により、区民の緑化活動の広がりが期待できる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: イベントを充実させることによって、みどりにへの愛着と関心を高めることができる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由: みどりのボランティア等、みどりに関心のある区民が、イベントを自らの活動の発表の場として参加することにより、区民の緑化活動への関心を高めていくことができる。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 一部、みどりのボランティア杉並の会員によるイベントへの参加が実現している。今後も区民のアイデアを生かしながら、様々な個々のイベントを区、ボランティアが双方で企画しながら区民参加型の楽しめるイベントに育ててゆく。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 共催(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 現在、個々のイベントを企画運営できるボランティア団体が少ないので、回数を重ねることにより、ボランティアの参加比率を増やしていく。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 従来、経費は事務費程度であるため、負担を求めることはなかったが、イベント内容が多様化し、材料費等が必要となる場合は受益者負担の考え方を取り入れていく。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 直営でポスターを制作するなど、事務費程度の経費で実施している。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりのボランティア制度の創設により、みどりのボランティアと協働により行うことで、イベントのメニューを増やし、開催成果の向上が期待できる。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性			<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 イベントメニュー充実をのために経費増が考えられるが、最小の経費で実施できる内容を検討する。内容によっては、受益者負担の考えを取り入れていく。			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのボランティア				整理番号	641		枝番号					
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	内線 3463		昨年度整理番号	671			
係名					みどりの計画係					上位施策名		No		
予算事業名					みどりを育てる					コード		63900		
										水辺とみどりの保全創出		12		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第2条							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区「みどりのボランティア杉並」設置要綱							
	区内で緑に関するボランティア活動を希望する個人。						(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				ボランティア活動希望者を区が登録し、活動しやすい環境の整備や支援を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
						地域の生活者の視点からきめ細かな緑化活動を推進し、継続性のある独立したボランティア組織にする。								
活動指標名(式)				(1) 登録者数		(2) グループ数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
								(1) ボランティア活動の延べ人数						
								(2) ボランティア活動の件数						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
					計画	実績	計画		年度					
指標	活動指標(1)		人	98	100	100	80	150						
	活動指標(2)		団体	0	22	23	22	14						
	成果指標(1)		人	0	102	100	80	150						
	成果指標(2)		件	0	21	23	14	14						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	427	120	660	245	715		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 成果指標名(2)のボランティア活動の件数は常時活動団体数である。				
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人	1.00	1.00	0.60	0.90	0.90						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,994	8,994	5,396	8,095	8,095						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	9,421	9,114	6,056	8,340	8,810						
	単位あたりコスト ÷		円	96,133	91,140	60,560	104,250	58,733						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	9,421	9,114	6,056	8,340	8,810							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	80.0	活動指標(2)の15年度達成率%	95.7	15年度予算執行率%	37.1						
			始まったばかりの事業であり、各グループのボランティア活動に差がある。											
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			みどりの基金緑化活動助成制度の立ち上げにより、ボランティア活動支援の方策が一つ増えた。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	始まったばかりの事業ではあるが、地域緑化へのボランティア指向は着実に広まっていると考える。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	みどりのボランティア活動に対して、多くの区民から関心がよせられている。また、平成14年度みどりの実態調査における住民意識調査では、みどりのボランティアについて66%の人が興味があると答えている。
	今後の予測	生活のゆとりや余暇の増大、団塊世代の地域社会への回帰などにより、益々ボランティア指向が高まると考える。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:生活者の視点から行われる緑化活動は、区民が創るみどりの都市そのものであるため、施策への貢献度は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容:区民との協働そのものの事業である。この事業の拡大がみどりの施策の充実を支える活動である。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 情報提供・情報交換(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:ボランティア活動への支援策を、ボランティアの意見を取り上げながら、事業費の増加を伴わない方向で充実させていく。
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:ボランティア活動のため受益者負担の見直しの余地はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:緑化に関するボランティアの活動支援事業と考えており、コストを下げる余地はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在登録しているボランティアの方々には、地域ボランティア活動のリーダーとなり、自主的な活動を行うよう支援する。また、緑化活動を継続することや、その他の団体への活動支援など、みどりの基金と連携しながら、ボランティアの輪を広げることを考えていく。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 みどりのボランティア杉並は、区が事務局機能を担っているが、ボランティアが事務局の役割を担っていくことによって、さらに自律性を高めていくことが必要である。今後は事務局の活動にも関わっていただく機会を設けていく。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	みどりの基金からの活動助成を充実させていく。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの相談所				整理番号	642		枝番号		
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3464		昨年度整理番号	672	
係名					みどりの計画係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを育てる			コード		63900	
					水辺とみどりの保全創出					12	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		63年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第2条 第6条				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)				
	緑化情報を必要としている個人				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
区立塚山公園管理棟に、みどりの相談コーナー、みどりの図書閲覧コーナー、展示講義室等を備えた「みどりの相談所」を併設している。(みどりの相談は毎週土、日曜日に実施)				みどりの情報等を提供することにより、緑化知識の向上を図る。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 相談実施日数				(1) 相談件数累計							
(2) 相談講師数				(2) 来所者数							
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	日	98	105	104	102	104				
	活動指標(2)	人	2	2	2	2	2				
	成果指標(1)	件	4,322	4,745	5,500	5,210	5,750				
	成果指標(2)	人	246	208	250	234	250				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,019	3,245	3,181	3,085	3,037	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	1,459	1,460	1,460	1,460	1,380			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.20	0.05	0.10	0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,799	1,799	450	899	899			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	4,818	5,044	3,631	3,984	3,936			
	単位あたりコスト ÷		円	49,163	48,038	34,913	39,059	37,846			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	4,818	5,044	3,631	3,984	3,936				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	98.1	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	97.0				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成14年度に新設した井草森公園管理棟内のみどりの図書コーナーを充実させるため、前年度は児童向けのみどりに関する蔵書を増やした。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	緑化への関心が高まるなか、様々な緑化情報の提供要望が増加してきている。開設当時は、みどりの分野に詳しい非常勤職員が配置され、平日も相談業務を行っていたが、現在は専門相談員により土曜日と日曜日のみ相談を行っている。	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	通年の緑化相談やインターネットを利用した相談など相談業務の充実が望まれている。	
	今後の予測	みどりに対する関心の多様化から、今後も相談や情報の提供要望の増加が予測される。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)		理由: 地域緑化の推進には、区民へのみどりの普及啓発のための情報提供が不可欠である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力()		理由: 現在は委託で相談員を配置しているが今後はNPOなどに移行してゆく検討をする。
	協働等は実現しているか 実現していないが今後可能性がある(具体的内容)		理由または具体的内容: みどりの相談所の管理運営を含めて全てNPOなどに委託することで相談業務の活性化を図る。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体()		
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)		
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()		理由または具体的内容: みどりの相談所のPRを積極的に行い、平日の利用や、土・日曜日の相談件数を増やすことができる。
成果向上のための方策 その他(具体的内容)			
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 普及啓発事業であるため、見直し余地はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		理由または具体的内容: 相談所に関する費用は、必要最小限の経費で実施している。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在、相談業務は毎週土曜、日曜日に行っている。中期的には、相談コーナーを増やすとともに、NPOなどとの協働を進め、毎日相談を受けられる体制をつくる。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の様々な相談に的確に回答を与え、区民からの信頼を損なわないためには、専門相談員の幅広く高度な知識や経験が必要となる。相談員の質の維持が問題となることから、協働を進める上で、慎重な検討が必要となる。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由 井草森公園管理事務所内に、専門相談員を配置した緑化相談コーナーを開設する方向である。			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの育成協定				整理番号	643		枝番号				
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	内線 3463		昨年度整理番号	673			
係名					みどりの計画係		上位施策名		No				
予算事業名					みどりを育てる		コード	63900		水辺とみどりの保全創出	12		
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		48 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第2条、第23条						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) みどりの条例施行規則 第16条						
	協定を締結する区内1,000㎡以上の敷地を有する工場、集宅団地等の事業者、管理者				(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
1,000㎡以上の敷地を有する住宅団地などの管理者等とみどりの育成に関する協定(5年間)を締結し、敷地内緑化のための苗木の供給などを行う。				育成協定を結ぶことによって、工場や住宅団地等での緑化活動を進めやすくする。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) みどりの育成協定数				(1) 苗木供給本数									
(2) みどりの育成協定面積				(2) みどりの育成協定苗木供給実績件数									
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績	年度						
指標	活動指標(1)			9	9	10	6	10					
	活動指標(2)			138,459	109,666	10,000	21,800	10,000					
	成果指標(1)			219	205	900	145	900					
	成果指標(2)			5	5	10	4	10					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	224	353	831	277	831	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.05	0.20	0.20					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,698	2,698	450	1,799	1,799					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	2,922	3,051	1,281	2,076	2,630					
	単位あたりコスト ÷		円	324,667	339,000	128,100	346,000	263,000					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0	
差引:一般財源 -		千円	2,922	3,051	1,281	2,076	2,630						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	60.0	活動指標(2)の15年度達成率%	218.0	15年度予算執行率%	33.3	1,000㎡以上の敷地所有者、管理者との協定となるため、マンションの管理組合などが多くなる傾向にある。そのため、総意を得るために時間がかかる場合が多く、相談はあるが、協定に至らない例が多い。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			広報によるPRや、チラシの配布による事業紹介を行った。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	宅地の細分化の進展に伴い、対象となる施設が減少傾向にある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	協定の相手からは喜ばれている。
	今後の予測	大規模開発など、新たな協定対象の出る可能性がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 対象地の多くは緑化余力があり、緑化用苗木の供給などを行うことで地域のみどりの創出効果がある。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 緑化余力地への緑化支援により区内緑化を進める事業であり、供給した苗木による緑地の維持管理は協定により敷地の所有者、管理者の責務となるので、そういう意味では、新たな緑地を協働で創出していると考ええる。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容: 生活環境の改善のための事業であることを積極的にPRし、理解を得る。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 協定に基づく敷地ない緑化への支援が目的であるため、受益者負担の見直しの考えはない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 緑の保全、創出策として小規模事業であるが、現状で継続されるべきである。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 協定の趣旨を理解してもらえるよう積極的にPRに努めるとともに、苗木の供給本数増を目指す。		
17年度方針	(2) 理由 協定内容や数は予算の範囲内で行っている。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生けがき協定				整理番号	644		枝番号		
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	内線 3463		昨年度整理番号	674	
係名					みどりの計画係		上位施策名		No		
予算事業名					みどりを育てる		コード		63900		
							水辺とみどりの保全創出		12		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		48年度		根拠法令等		
									<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第2条、第21条、第22条				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) みどりの条例施行規則 第13条、第14条、第15条				
	生けがき等を保全する目的の協定を締結した所有者				(3) 杉並区生けがき協定における補助金交付要綱						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
敷地の道に面した部分(道路境界から1mの範囲)に造成された10m以上の生けがき、植え込み、フェンス緑化を保全・育成する協定を締結した場合、区はその協定を認定するとともに維持管理費用の一部を補助する。				生けがき等の所有者に長期にわたって良好な維持管理に努めてもらう。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 生けがき協定数(累計)				(1) 協定を締結している生けがき等の延長							
(2) 新規生けがき協定申し込み数				(2) 生けがき協定保全率 (生けがき協定数 ÷ 生けがき協定累計数 × 100)							
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	件	7	10	12	14	16				
	活動指標(2)	件	4	3	2	5	2				
	成果指標(1)	m	73	55	20	112	20				
	成果指標(2)	%	100	100	100	93	94				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	129	151	107	110	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 補助金交付額 維持費用 生けがき1m当たり250円/年 植え込み1㎡当たり100円/年 フェンス緑化1m当たり50円/年 (3年ごとに交付する)		
	(内)委託費		千円	0	0	12	0	12			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.05	0.20	0.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,698	2,698	450	1,799	1,799			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	2,698	2,827	601	1,906	1,909			
	単位あたりコスト ÷		円	385,429	282,700	50,083	136,143	119,313			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0	
差引: 一般財源 -		千円	2,698	2,827	601	1,906	1,909				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	116.7		活動指標(2)の15年度達成率%	250.0		15年度予算執行率%	70.9		
		計画以上の生けがき協定が締結された。									
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		広報等で事業案内を行った。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	10m以上の生けがきを対象に造成費の割増助成をしていたが、平成12年度より、対象の拡大と、緑の保全育成を目的とするため、管理費の一部補助の制度に変更した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	なし。
	今後の予測	制度の変更により、協定数の増加と、保全される緑が増えると考える。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区内の良好な生けがき等の創出・保全が図られる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 1mあたり年間250円の補助金により、道に面した生けがきを良好に保つことができる。委託料については、看板の設置費である。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 協定数の増加に比例して事業費も増加する。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 生けがき等の保全・育成を目的に結ぶ協定であるため、見直す余地はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 生けがき等の良好な維持管理には、補助金の数倍から数十倍のお金と労力がかかるので、生けがき等の保全のためには、コストをさげるべきではない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 協定の理解を得られるよう、積極的なPRに努める。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在の3年に1度という補助金の方法が、制度を分かりにくくしている面もあり、また、生けがきの維持管理には相当なお金と労力をようするため、毎年助成と、助成金を増すことにより、生けがき協定を分かりやすい制度にする。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 16年度より、みどりの条例の改正取り組んでおり、改正が終わるまでは従来どおり進める。該当協定者数に応じた増加がある。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりの基金(積立金)				整理番号	645		枝番号					
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	3464		昨年度整理番号	675			
係名					みどりの計画係			上位施策名		No				
予算事業名					みどりを育てる			コード	63900		水辺とみどりの保全創出	12		
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		14年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区みどりの基金条例							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区みどりの基金運営要綱							
	基金に寄付をしてくれる個人や団体				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				緑化活動を行う人材の育成をはじめとするみどりの保全及び緑化の推進を図るための事業に要する経費の財源に充てるため区民、及び事業者と杉並区が協働して基金を募る。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 基金寄付件数				(1) 年間総基金寄付額										
(2) 継続基金寄付団体数				(2) 継続基金寄付団体基金寄付額										
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)		件			50	24	50						
	活動指標(2)		団体			10	3	10						
	成果指標(1)		千円			2,000	1,746	2,000						
	成果指標(2)		千円			500	79	500						
総事業費・コスト把握	事業費		千円			268	3	0	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 15年度予算はパンフレットと事務費					
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人			0.01	0.10	0.10						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	90	899			899			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0			
	総事業費 + +		千円	0	0	358	902	899						
	単位あたりコスト ÷		円			7,160	37,583	17,980						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0			
差引:一般財源 -		千円	0	0	358	902	899							
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	48.0	活動指標(2)の15年度達成率%	30.0	15年度予算執行率%	1.1	15年度にみどりの基金の普及啓発用パンフレット代を計上したが前年度印刷分の充当でまかなったため新規印刷をしなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)														

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	基金寄付件数は増加の傾向である。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	みどりの基金に関する区民の関心と期待は大きい。ただ制度に関しての認識の程度はまだ低い。
	今後の予測	みどりの基金に関するPRの拡大と周知に勤めることにより基金寄付は増加すると考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 基金寄付による緑化活動に対する貢献である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由: 基金の寄付についてはボランティアの募金活動が主体である。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: ボランティアによる募金活動である。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 基金寄付による事業である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 区は基金の管理業務など最小限の事業量である。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 みどりの基金に関しての情報を多く発信し区民自身による緑化活動の推進のための基金寄付をより多くの区民に理解してもら		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 みどりの基金に対する理解を深めること。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	予算の増加なしに基金活動の充実を目指す。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校のエコアップ				整理番号	646		枝番号		
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221907	連絡先電話番号	3465		昨年度整理番号	676	
係名					みどりの事業係			上位施策名		No	
予算事業名					みどりを創る		コード	64100		水辺とみどりの保全創出	12
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例第2条				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)				
	区立学校				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
区立学校において、道路に面した塀等を緑化することや、様々な生き物が生息できる場所を整備する。				過密化した地域において、学校は防災上、まちなみ景観上、環境改善上重要なオープンスペースであることから、地域緑化の先導的役割を果たすとともに、特に移動性動物の移動ネットワークの拠点とする。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 接道部緑化整備延長(m)				(1) 整備延長 ÷ 接道部緑化計画延長 × 100							
(2) ピオトープ設置校数				(2) 設置校数 ÷ 設置計画学校数 × 100							
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
				計画	実績		22	年度			
指標	活動指標(1)	m	190.2	281.0	360	112.70	260	2,600	4.3		
	活動指標(2)	校	3	2	2	2	2	20	10.0		
	成果指標(1)	%	73	108.00	100	43.35	100	100	43.4		
	成果指標(2)	%	150	100	100	100.00	100	100	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	17,252	15,534	36,000	13,503	36,500	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	0	0	33,900	13,503	33,400			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.30	1.10	1.17	1.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,598	2,698	9,893	10,523	9,893			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	20,850	18,232	45,893	24,026	46,393			
	単位あたりコスト ÷		円	109,621	64,883	127,481	213,185	178,435			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	20,850	18,232	45,893	24,026	46,393				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	31.3	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	37.5	接道部緑化設置校を募集したところ希望する学校が1校しかなかった。ブロック塀やフェンスを取り外して生けがき化するのには安全安心の観点からむずかしい。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ピオトープについては完成品を工事で作るだけでなく、資材提供を含めた試みをした。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年度の環境基本計画改定などにより、生物多様性確保や自然生態系保全などの視点から見直しがなされ、本事業を取り巻く法整備が整った。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	接道部緑化については、防犯上、景観上塀などが緑に変わってよい。塀が後退することによって歩道空間に余裕ができた。また、ピオトープの設置については児童の生き物とのかかわり合いなど関心が高まった。
	今後の予測	接道部緑化については、安全安心の立場から強固な塀(フェンス・ブロック塀)の撤去は難しく、接道部緑化はフェンス緑化を中心に整備する。ピオトープについては造成整備を学校側で手づくりする場合などは資材提供などの支援をする。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 緑を増加させるための地域緑化の先導的役割を果たすため大変重要である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 専門業者による造成整備をしている。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容: 業者委託から、資材提供による手づくりピオトープ移行することにより、より多くの効果を得ることができる。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区自らの施設を緑化するため	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の縮小をしない限りコストを下げられない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 スクールピオトープについては今後業者委託から子供たち、学校、PTA、NPOなどの協力による手づくりピオトープへ移行する					
17年度方針	(2) 理由 スクールピオトープは創意工夫をしながら作り上げるものなので費用も確定数ではない。					
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		みどりのリサイクル				整理番号	647		枝番号			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221907	連絡先電話番号	3465		昨年度整理番号	677		
係名					みどりの事業係			上位施策名		No		
予算事業名					みどりを守る		コード	64100		水辺とみどりの保全創出	12	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例第2条					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				公園、学校、道路、河川をはじめとした公共施設により発生する剪定枝葉							(3)
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
				公園、学校をはじめとした公共施設の樹木維持管理により発生した剪定枝葉を可能な限りチップ化するなどして焼却せずに資源化する。また、学校や公園に落ち葉溜めを設置して落ち葉の堆肥化を進める。							剪定枝や落ち葉をごみとして焼却せずに資源として活用する。	
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
				(1) 発生材の資源化量(t)							(1) 資源化率 = (再資源化量 ÷ 発生材の総量) × 100	
				(2) 落ち葉溜め設置数							(2) (代) 落ち葉溜め設置累計	
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		t	584	797	500	441	500				
	活動指標(2)		台	5	4	5	4	3				
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100				
	成果指標(2)		台	7	11	16	15	18				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,506	1,579	4,331	1,890	935	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	0	25	2,505	1,890	860				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.01	0.10	0.72	0.72	0.72				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	90	899	6,476	6,476			6,476	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 ++		千円	2,596	2,478	10,807	8,366	7,411				
	単位あたりコスト ÷		円	4,445	3,109	21,614	18,962	14,822				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	2,596	2,478	10,807	8,366	7,411					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	88.2	活動指標(2)の15年度達成率%	80.0	15年度予算執行率%	43.6	落葉量からもう1基落ち葉溜めを設置したところであったが設置場所がなかったため。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	植物系発生材の焼却処分の減少と自区内処理の増加。公園の落ち葉の区民配布などを実施してきた。平成15年度にはみどりのリサイクル検討懇談会を実施、民間のみどりのリサイクルを含めた総合的なみどりのリサイクルへ着手。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	平成14年度に実施したみどりの実態調査のアンケート調査では、みどりのリサイクルに対して72%の区民が興味を示している。
	今後の予測	植物系発生材の再資源化を自区内で拡大するため、具体的なリサイクルプログラムを作成し、平成17年度より積極的に資源化に努める。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 植物系発生材の自区内処理と活用を拡大していく。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 公共施設や、公園、街路樹の樹木剪定委託の中で発生した剪定枝葉は資源化施設へ持ち込み、焼却処分は行わない。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 剪定枝葉はすべて資源化施設へ持ち込んでいる。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 現在は区の維持管理している施設からの植物系発生材であるため、見直す予知はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 植物系発生材を焼却せずに自区内で積極的に資源化することでコストが増加する。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成15年度のみどりのリサイクル検討会を踏まえ、総合的にみどりのリサイクル、特に民間のみどりの資源化に着手する。事業の推進には区民の理解と協力が不可欠であり、実態に合ったプログラムの実施が必要である。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 当面、検討結果を事業推進に反映させるため、詳細な検討・調整が必要である。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		苗木等の育成活用				整理番号	648		枝番号		
担当部課名	都市整備部公園緑地課			コード	221908	連絡先電話番号	3465		昨年度整理番号	678	
係名	みどりの事業係				上位施策名				No		
予算事業名	みどりを創る			コード	64100	水辺とみどりの保全創出				12	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 48 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) みどりの条例 第2条						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区緑化用苗木育成管理委託実施要綱						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 緑化を推進するために、苗木を区のイベントや地域緑化地域緑化、環境保全に関連するイベントにおいて配布する。区内農地の確保のため、配布用苗木の育成を営農団体に委託し契約年数後、区で引き取る。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 苗木を配布することにより、区民の緑化啓発意識を高め、区内緑化面積の創出を図る。 苗木の育成委託をととして、配布用苗木の安定確保をはかると共に、営農者の支援や農地の保全を図る。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 苗木の配布数				(1) 配布苗木累計数に見る想定創出緑化面積							
(2) 苗木育成による委託本数				(2) 苗木育成による農地保全面積							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		本	6,042	6,610	8,200	5,636	5,500			
	活動指標(2)		本	30,100	24,900	19,700	19,700	14,000			
	成果指標(1)		m ²	15,261	15,856	16,594	16,363	16,858			
	成果指標(2)		m ²	366	505	332	332	442			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,838	5,232	4,316	3,547	2,520	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	5,830	5,219	4,286	3,546	2,520			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.60	0.50	0.50	0.50	0.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,396	4,497	4,497	4,497	4,497			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	11,234	9,729	8,813	8,044	7,017			
	単位あたりコスト ÷		円	1,859	1,472	1,075	1,427	1,276			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	11,234	9,729	8,813	8,044	7,017				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	68.7	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	82.2	苗木配布についてはイベント配布に移行、緑化啓発の一環として対応しているため。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	農地の保全や営農者の支援と苗木の安定供給を図ることを目的にしている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	苗木の育成委託事業については特に住民要望、苦情はない。
	今後の予測	相続や開発などで農地が減少していく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 緑化の推進を目的にこれまで配布活動をしてきた。その結果として区内みどりを創ることに繋がっている。農地の保全や営農者への支援の一環として一定の役割をはたしている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: イベント配布用苗木を専門的に請負、安定供給している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 苗木の配布について見当の余地はあるが、有料化した場合、緑化啓発の意図との整合性や苗木生産者逼迫の危惧(価格競争の中に区が参入することになる)が懸念される。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [対象の縮小] (具体的内容)	理由または具体的内容: 苗木配布対象を縮小。無料配布からイベント参加者対象に配布。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 苗木配布のための育成委託だけでなく、現在活動されている「花咲かせ隊」などへの花材供給を検討する。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 イベント主催者と調整をする。区民意識(苗木は無料でもらえるもの)からの変革						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input checked="" type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 営農者への育成委託数の減少						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共施設の緑化				整理番号	649		枝番号				
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3465		昨年度整理番号	679			
係名					みどりの事業係		上位施策名		No				
予算事業名					みどりを創る		コード	64300		水辺とみどりの保全創出	12		
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		48 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例第2条						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)						
	区立小・中学校及び区立施設				(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区立施設の接道部緑化を行なうとともに、小・中学校及び区立施設の樹木の適正な維持管理を行う。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 接道部緑化整備延長(m)				(1) (総整備延長 ÷ 接道部緑化計画総延長) × 100									
(2) 剪定実施施設数				(2) 剪定総本数									
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%				
				計画	実績		22	年度					
指標	活動指標(1)	m	145.1	144.5	360	112.7	260						
	活動指標(2)	箇所		227	274	221	274						
	成果指標(1)	%			100	31.3	100						
	成果指標(2)	本	3,466	3,386	3,500	3,951	3,500						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	75,837	77,261	69,380	69,348	69,380	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 区立施設の接道部緑化については学校の接道部緑化260mに公共施設分の100mをあわせた数字である。剪定総本数は施行計画本数であって施設の樹木総本数ではない。平成12年度までは学校の接道部緑化については学校教育委員会での実施。				
	(内)委託費		千円	68,875	69,102	69,380	69,348	69,380					
	職員数(正規 非常勤)		人	2.00	1.20	1.20	1.20	1.20					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	17,988	10,793	10,793	10,793	10,793					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	93,825	88,054	80,173	80,141	80,173					
	単位あたりコスト ÷		円	646,623	609,370	222,703	711,100	308,358					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	93,825	88,054	80,173	80,141	80,173						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%		31.3	活動指標(2)の15年度達成率%		80.7	15年度予算執行率%		100.0			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区立施設の緑化について、接道部緑化を推進することにより、地域のみどりの核となり、より効果的な緑化推進になってきている。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学校をはじめとした公共のみどりは、区内緑化の先導的役割を担い、ますますまちの生活環境向上のため重要となってきた。一方、維持管理対象樹木の成長と施設の増加により、コストが増大してきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学校をはじめとした公共のみどりは、不安定な民有のみどりと異なり、緑化推進を進めるべきみどりとして要望が高い。また、落ち葉や日陰などの苦情も多い。
	今後の予測	公共のみどりは地域のみどりの核としてますます重要となると予測される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 地域のみどりの核として公共施設の緑化、みどりの管理は重要である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由: 区の施設であることから、施設管理者として本来区が行うべきであるが、専門作業があることから業者委託を行う。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 樹木の状況を見て、計画を立て施工をするため専門業者の施工とする。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 専門性を有する仕事であり、ますます樹木の生長や住民のニーズに答えていくためには現在の事業費では収まらない。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区の施設であるため受益者負担の方式をとっていない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 緑化を行ない、良好にみどりを維持するためには、応分に手をかける必要がある。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設管理者と連携をとりながら良好にみどりを育成するためには、よりきめ細やかな管理を行う。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 緑化事業に対して、区立施設の理解を得る必要がある。また樹木の生長により維持管理コストが上昇している。このため、これまで以上に計画的な維持管理を行うなど、効果的な管理手法を検討する。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 地域のみどりを創出することによりみどりの骨格を作る。また、まちの宅地化が進み学校や公共施設の隣接から樹木管理への要望が多く寄せられている。適正に対応するためには管理費増が必要である。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区営苗圃の維持管理				整理番号	650		枝番号						
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	3465		昨年度整理番号	680				
係名					みどりの事業係			上位施策名		No					
予算事業名					みどりを守る		コード	64300		水辺とみどりの保全創出		12			
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		48年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例第2条								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)								
	区有地				2箇所(成田西、成田西第二)		民有地				3箇所(上高井戸、久我山、南荻窪)		(3)		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				農地の保全、寄付樹木の受け入れ用地、区民配布や公共施設緑化用苗木育成の役割を持っている。								事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区内の緑化推進をしていくための中心的な役割を持たせるとともに、合わせて民有農地の保全を図っていく。		
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 苗木の育成数				(1) 緑化活用苗木本数											
(2) 苗圃面積				(2) (代)苗圃面積											
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%					
					計画	実績		年度							
指標	活動指標(1)		本	15,302	10,336	10,336	12,801	12,801							
	活動指標(2)		m ²	11,433	9,714	9,714	9,714	8,042							
	成果指標(1)		本	5,967	1,976	1,000	1,085	1,000							
	成果指標(2)		m ²	11,433	9,714	9,714	9,714	8,042							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23,614	16,593	16,274	15,926	25,335	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内)委託費		千円	16,776	15,775	15,469	15,466	24,469							
	職員数(正規 非常勤)		人	0.60	0.50	0.50	0.50	0.50							
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,396	4,497	4,497	4,497				4,497			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0			
	総事業費 + +		千円	29,010	21,090	20,771	20,423	29,832							
	単位あたりコスト ÷		円	1,896	2,040	2,010	1,595	2,330							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0			
差引:一般財源 -		千円	29,010	21,090	20,771	20,423	29,832								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	123.8	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	97.9							
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)															

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区営苗圃の開設当初は失業対策事業との関連があったが事業の廃止により苗圃運営が委託化された。また、区営苗圃の数は事業開始以降6箇所に増えたが、富士見丘苗圃については返還請求にともなって平成14年6月に廃止した。また、15年度末現在、土地所有者から南荻窪苗圃の返還請求の話が出ている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民により開放された施設(たとえば、体験学習の場)としてほしいとの要望有り。
	今後の予測	これまでの閉鎖的苗圃運営から緑化技術の啓発の拠点、みどりのボランティアの活動拠点、みどりのリサイクル運営拠点などを視野に入れた、区民開放・参加型苗圃運営へ移行する。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 緑化用苗木の育成場所としてよりは区民活動の拠点としての役割が求められている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由: 緑化の普及啓発保全事業なので区が主体となって行うが、実際は専門的な作業が多いので専門業者に委託している。専門性の低い作業についてはボランティアの参加もありうる。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 専門的な作業が多く植物の状態によって作業工程が異なるため専門知識が必要となる。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 公共施設の緑化用苗木の供給は公共施設の新設が減少しているため、苗木の供給増加は望めない。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 民有地の苗圃は無償借地であるため受益者負担の見直しの考えはない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 現在業者委託をしており、専門性の高い作業についてはコストを下げられないが、低いものについてはボランティアの参加もありうる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 苗圃という形態にこだわらず区民に開かれた施設となるよう検討していく。(平成16年度、課内で苗圃見直し検討会を設置する)		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	16年度の苗圃見直し検討会を経て区民に開かれた施設となるよう準備を進める。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		緑化の助成				整理番号	651		枝番号	681				
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	651		連絡先電話番号	3466		昨年度整理番号	681			
係名				みどりの事業係				上位施策名		No				
予算事業名				みどりを創る				コード		64100				
								水辺とみどりの保全創出		12				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第2条							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区接道緑化助成要綱							
	接道部緑化助成は、道路に接した敷地部分を生けがき等にする個人の方 屋上・壁面緑化助成は、屋上・壁面を緑化する建物の所有者または管理者				(3) 杉並区屋上・壁面緑化助成金交付要綱									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）									
接道部緑化助成は、道路に接した敷地部分を生けがき等にする場合、既存の塀の撤去費用と生けがき等を造る費用の一部を助成する。屋上・壁面緑化助成は、建物の屋上またはベランダの全部または一部に緑化区画を設けて植栽したもの、建築物の壁面に原則として補助器具等（ネットなど）を設置し、つる性植物や樹木を壁に添わせたものに造る費用の一部を助成する。				この助成事業によって、道路沿いの生けがき化や屋上・壁面緑化を行いやすくする。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 接道部緑化助成延長累計				(1) (代)接道部緑化助成件数										
(2) 屋上・壁面緑化助成面積累計				(2) (代)屋上・壁面緑化助成件数										
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
							計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)		m	2,940	3,414	3,914	3,838	4,538						
	活動指標(2)		m ²		77.20	475.00	1,708.40	2,283.40						
	成果指標(1)		件	30	27	70	36							
	成果指標(2)		件		2		19							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,578	5,141	15,171	14,025	14,713	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 杉並区屋上・壁面緑化助成制度については平成14年10月1日開始した。 屋上・壁面緑化助成の活動指標については、壁面緑化助成の件数が無いため、屋上緑化の面積累計を計上した。					
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.50	0.60	0.60	0.60						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,698	4,497	5,396	5,396					5,396	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0					0	
	総事業費 + +		千円	5,276	9,638	20,567	19,421	20,109						
	単位あたりコスト ÷		円	1,795	2,823	5,255	5,060	4,431						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0	
差引:一般財源 -		千円	5,276	9,638	20,567	19,421	20,109							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	98.1	活動指標(2)の15年度達成率%	359.7	15年度予算執行率%	92.4	(1)の指標については、ほぼ達成している。(2)については、当初目標を大幅に上回る実績となっている。					
前年度の改革案の取り組み状況(16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			接道部緑化助成については、平成15年度生けがきの形状規定を明確化し、新たに生けがき、フェンス緑化、植樹帯の改修を含めた結果、利用者が増した。屋上・壁面緑化助成については広くPRするためのチラシを作成し普及に努めた結果、一般住宅屋上緑化が増えた。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年度に生けがきのみの助成制度から開始し、平成14年10月1日より屋上・壁面等対象を拡大している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	ヒートアイランド現象等により、緑化に対する関心が高まり、問い合わせの件数が増加している。
	今後の予測	防災、緑視景観、生活環境の改善等の観点から、必要性の認識が高まってくると思われる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: まちのみどりが減少する中で道路に接した敷地を緑化することは緑視率の向上につながり、貢献度は大きい。また、屋上・壁面緑化はヒートアイランド現象を緩和する効果や、地球温暖化を防止する効果があり、貢献度は大きい。更に都市化が進んだ区内、特に商業地域における緑地の確保という意味からも重要な役割を果たす。 理由: 一定の基準に基づく助成制度であるので、行政が実施すべき事業である。 理由または具体的内容:
	行政が自ら実施(理由)	
	協働等は実現しているか	
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 緑被率を増加させるためには、接道緑化助成、屋上・壁面緑化助成を推進していく必要がある。	
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 屋上壁面緑化や接道部緑化については初期設置経費がかかるため、普及させるためには助成を推進していく必要がある。 理由または具体的内容: 緑被率を増加させるためには接道部緑化助成、屋上・壁面緑化助成を指導していく必要がある。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	<p>(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 屋上・壁面緑化については申請件数が多く、助成できる件数が限られていることから、より広く対象にするため助成金の限度額の引き下げを含め検討する。 接道部緑化助成についてはPRの徹底に努めていく。</p> <p>(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 限度額100万円は申請の手間が大変だとしても魅力的である。限度額を下げた場合手間の方がかかるようだと申請件数が減少すると思われる。限度額の適正な額について検証する必要がある。</p>						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 助成制度に対するPR効果、区民の関心の高まりに伴い利用者の増加が見込まれる。みどりを創るための事業としてより効果的な事業に改善する。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保護樹木・保護樹林・保護生けがき・貴重木補助			整理番号	652	枝番号			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908	連絡先電話番号	3466	昨年度整理番号	683	
係名				みどりの事業係		上位施策名		No		
予算事業名				みどりを守る		水辺とみどりの保全創出		12		
事業開始年度				●昭和 ○平成 48年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第11条				
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) みどりの条例施行規則 第3条				
基準以上の樹木、樹林、生けがきを所有する個人・法人						(3) 杉並区貴重木保全事業実施要綱				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区内に現存する一定基準以上の樹木等を所有者の同意を得て区が保護指定し、維持管理に要する費用の一部を補助する。貴重木については所有者と一定期間(10年以上)の保全協定を結び、費用の一部を補助するほか、必要に応じて樹木医の派遣や支障となる枝の剪定も行う。なお、貴重木は平成14年度までに50本を指定し、今後はその本数を維持する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区で標識を設置し補助金を交付することによって地域住民に保護すべきみどりであることを周知し、所有者が樹木等の維持管理がしやすくなる。貴重木については、必要に応じて樹木医の派遣や支障枝の剪定を区が行うことで、長期に保全することができる。		
活動指標名(式)				(1) 保護樹木、保護樹林、生けがきの件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
				(2) 保護樹林面積数値		(1) 継続率: (前年度保護樹木本数 - 今年度解除本数) ÷ 前年度保護樹木本数 * 100				
						(2) 継続率: (前年度保護樹林㎡数 - 今年度解除㎡数) ÷ 前年度保護樹林㎡数 * 100				
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	件	743	750	750	762	762			
	活動指標(2)	㎡	622,640.49	621,181.49	621,181.49	617,227.83	617,227.83			
	成果指標(1)	%	95.6	98.9	100.0	98.3	100.0			
	成果指標(2)	%	98.4	99.8	100.0	98.7	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30,647	30,785	39,795	28,211	39,328	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	1,003	200	2,657	728	3,589		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.30	1.20	1.30	1.30	1.30		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	11,692	10,793	11,692	11,692	11,692		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	42,339	41,578	51,487	39,903	51,020		
	単位あたりコスト ÷		円	56,984	55,437	68,649	52,366	66,955		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引: 一般財源 -		千円	42,339	41,578	51,487	39,903	51,020			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	101.6	活動指標(2)の15年度達成率%	99.4	15年度予算執行率%	70.9	建築計画によりやむを得ず樹木が伐採されたため、保護樹林面積が減少し補助金交付対象が減少した。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		制度の理解と協力を得るため、広報によるPRをおこなった結果。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	保護樹木・保護樹林については、昭和48年の事業開始後増加していたが、相続等に伴い近年減少傾向が見られる。保護生けがきは、昭和50年に1,802mから、平成15年には5,928.9mに増加している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保護指定樹木に関わる日照問題、落ち葉の問題による近隣とのトラブルは少なくない。また、所有者の高齢化や管理費の問題で、個人で維持することが困難となっており、行政や地域の積極的な支援を期待している。
	今後の予測	今後も相続や規制緩和などによって開発や宅地の細分化が進み、保護指定樹木の保全は困難になる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:所有者の同意を得て保護指定を行うものであり、所有者の事情で簡単に解除できる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容:一定基準に基づく指定制度であるので、行政が実施すべき事業である。ただし、周知用設置看板については業者委託をしている。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:所有者の事情で簡単に解除できる一方、状況が変化しても指導する規定がなく、基準を維持することが困難である。したがって、規定の整備により、安定した保護制度とすることが可能である。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:維持管理費用は高額であり、現況の補助金の増額の要望が強い。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:樹木の維持管理の費用は、高額なため、現状でも維持には困難がともなっている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 根拠法令等の見直しを行うことにより、継続的に樹木の状況を把握し、必要な指導を行うことにより、保護樹木等の基準の維持		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 所有者の負担が増大するなかで、行政としての役割を明確化することが困難である。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	樹木・樹林の解除が新規指定より多く、減少傾向が止まらない。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		緑化指導				整理番号	653		枝番号					
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221908		連絡先電話番号	3466		昨年度整理番号	685			
係名					みどりの事業係					上位施策名		No		
予算事業名					みどりを守る					コード		64300		
										水辺とみどりの保全創出		12		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		48年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第19条							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区公共施設緑化推進要綱							
	一定規模以上の建築行為を行う個人、事業者。				(3) 寄付樹木取扱要領									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
区内のみどりを守り増やすため、200㎡以上の敷地で建築行為を行うものに対し、緑化計画書の提出を求め、用途地域に応じた緑化指導を行う。また、建築計画等により不要になった樹木を寄付したいとの申し出があった場合、基準を満たしたものであり受け取ることが可能であれば、樹木を受領し公共施設に移植する。				建築行為の際に、みどりの重要性を認識してもらい、敷地内の緑化推進をはかっていく。また、寄付樹木制度を活用することにより、既存樹木を伐採せずを守る。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 緑化計画書受理件数				(1) 緑化された率 (緑地面積 ÷ 敷地面積 * 100)										
(2) 寄付樹木受領本数				(2) 計画実行率 (受領本数 ÷ 受領計画本数 * 100)										
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%					
					計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)		件	554	622	600	628	600						
	活動指標(2)		本	50	124	100	195	100						
	成果指標(1)		%	19.90	20.10	20.00	20.20	20.00						
	成果指標(2)		%	100	124	100	195	100						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,018	2,817	2,984	2,957	2,824	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円	2,999	2,699	2,700	2,697	2,700						
	職員数(正規 非常勤)		人	2.70	2.75	2.63	2.71	2.63						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	24,284	24,734	23,654	24,374	23,654						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	27,302	27,551	26,638	27,331	26,478						
	単位あたりコスト ÷		円	49,282	44,294	44,397	43,521	44,130						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0				
差引:一般財源 -		千円	27,302	27,551	26,638	27,331	26,478							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	104.7	活動指標(2)の15年度達成率%	195.0	15年度予算執行率%	99.1						
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			緑化指導については広報PRと業者指導を充実した結果、緑化相談件数が増え、業者だけではなく施主の協力を得られるようになってきた。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開発による宅地化と敷地の細分化が進んでいる。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	大規模開発に伴う樹木の伐採など、みどりの減少に心配する声が挙がり、区の積極的な緑化指導を求める住民要望も多く聞かれる。
	今後の予測	今後も相続や規制緩和などにより宅地の細分化や狭小化が進行し、緑地確保のため緑化指導の重要性が一層高まると予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 緑化指導を行うことにより、みどりの減少に歯止めをかけ、一定程度のみどりの保全・創出が可能になる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 実現していないが今後可能性がある(具体的内容)	理由または具体的内容: 緑化基準、緑地保全の必要性が理解されれば、企業等自主的な管理が可能となる。
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 建築基準法の確認申請時等に緑化計画書及び、施工後の完了届の提出について周知する。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 緑化はすべて区民、事業者の負担で行われている。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最小限の経費で事務を行っている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 緑化相談を一層充実し、緑化計画と共に、植木の手入れから庭造りまで、緑化全般を相談できる緑化相談コーナーを定期的に開設し区民にみどりの大切さをPRし緑化基準の見直しも行う。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 みどりの条例の見直しが進められているため、見直し後主旨に適合した基準を作る。							
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 最小限度の事務費で実施しているため。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生き物生息場所の保全創出				整理番号	654		枝番号					
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904		連絡先電話番号	3465		昨年度整理番号	687			
係名					みどりの事業係			上位施策名		No				
予算事業名					みどりを守る			コード		64300				
					水辺とみどりの保全創出					12				
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) みどりの条例 第2条							
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)							
	区立小学校等						(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				杉並区の貴重な植物を保全・創出するため、公共施設等の敷地の一角に貴重種の生息場所を設ける。								事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 貴重な植物等を区民へ周知するとともに全員で大切に保全していく。	
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 保全箇所数				(1) 保全できた箇所数 ÷ 保全予定箇所数 × 100										
(2) 創出箇所数				(2) 創出できた箇所数 ÷ 創出予定箇所数 × 100										
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績	22年度	年度						
指標	活動指標(1)		箇所	1	1	1	1	1	1	2	50.0			
	活動指標(2)		箇所		2	2	2	2	2	14	14.3			
	成果指標(1)		%		50	50	50	50						
	成果指標(2)		%		14.29	28.58	28.58	42.86						
総事業費・コスト把握	事業費		千円		493	1,030	676	1,530	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 13年度はカタクリを保全(1箇所) 14年度は菖を創出(2箇所)					
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.20	0.20	0.15	0.15						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,799	1,799	1,799	1,349					1,349	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0					0	
	総事業費 ++		千円	1,799	2,292	2,829	2,025	2,879						
	単位あたりコスト ÷		円	1,799,000	2,292,000	2,829,000	2,025,000	2,879,000						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0	
差引:一般財源 -		千円	1,799	2,292	2,829	2,025	2,879							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	65.6						
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)														

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	始まったばかりの事業であるが、整備後の管理について区民と協定を結び依頼している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	生き物生息場所の保全創出の事業に共感し維持管理等に協力的な意見が出されている。
	今後の予測	みどりを取り巻く自然環境は悪化すると予想され、杉並区の地域特性に合った従来より自生していた貴重種(レットデータより)を保全することは生態系の観点からも重要な意味をもつようになる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	失われつつある貴重な生き物を保全することができる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容:貴重植物の整備については区がおこなっているが、貴重植物の維持管理についてはボランティアと協定を結び依頼している。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:専門知識のあるボランティアに依頼して整備から参加させる。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:公共施設が対象であるため。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:区民の参加などにより、施工費や管理費の削減をはかることが可能である。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 積極的に区民や学校の参加により、多様な植栽計画の立案やきめ細やかな維持管理を図る。 区内に残された未利用のがけ地の保全を図り、貴重種の保全に取り組む。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民や児童の植物に関する知識や管理技術の向上を図る。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 オープンスペースの確保など生き物生息場所の規模拡大が見込めないため。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		市民緑地の設置及び管理				整理番号	655		枝番号				
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221904	連絡先電話番号	3465		昨年度整理番号	688			
係名					みどりの事業係			上位施策名		No			
予算事業名					みどりを守る		コード	64300		水辺とみどりの保全創出	12		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		9年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 都市緑地保全法 第20条の2						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) みどりの条例 第2条、第11条						
	300㎡以上の良好な樹林地等の所有者				(3) 杉並区市民緑地「いいいの森」の設置及び管理に関する要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
良好な生活環境の形成を図るため、区内の樹林地を区が長期間借上げ、区民が利用する市民緑地として管理し公開する。				樹林地を区に貸すことによって、所有者が固定資産税の免除などの税制措置を受けることができ、その樹林地を保全しやすくなる。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 市民緑地面積				(1) 樹林等の保全率(市民緑地管理面積 ÷ 市民緑地面積 × 100)									
(2) 市民緑地設置数				(2)									
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	㎡	2,112	2,112	2,112	2,112	2,112						
	活動指標(2)	箇所	2	2	2	2	2						
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	195	214	220	192	216	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円			161	160	157					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	899	899	899	899	899					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	1,094	1,113	1,119	1,091	1,115					
	単位あたりコスト ÷		円	518	527	530	517	528					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	1,094	1,113	1,119	1,091	1,115						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	87.3						
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		樹林地の所有者との市民緑地契約ができるように、広報等とおしてさらに一層制度のPRに努めていく。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	個人所有の樹林で最も面積の大きいものは屋敷林であるが、マンションや駐車場などの建設にともない伐採され、面積が減少するとともに狭小化が進んでいる。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現在、2箇所の市民緑地(いこいの森)が公開され区民利用がされているが、犬の放し飼いや糞の始末などの苦情が寄せられている。
	今後の予測	今後も、開発や宅地化の進行により、昔ながらの屋敷林は減少していくと予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 貴重な樹林を守るとともに、区民がそれを利用し豊かな区民生活ができるようになる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 区民緑地制度は区がおこなう仕組みである。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 区民緑地は維持管理費を最小限にして運営をしている。事業の中心をしめる清掃についてはすでに業者委託をしている。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容: 維持管理についてボランティア活動などと連携を深める。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 市民緑地は無償借地であり、区民に公開する制度であるため、見直しの考えはない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 所有者からの無償借地であり、自然な状態の林を区民に公開することを目的としているため、施設の設置は極力行わず、維持管理経費も最小限にして管理している。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内の貴重な樹林地については、所有者の理解と協力が得られるよう、積極的なPRに努めていく。また管理についてはみどりのボランティア活動などと連携を進めていく。
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 市民緑地制度について積極的にPRするとともに、開発や宅地化を防止するため、将来的には区が買い取り公園緑地化していくことも検討していく必要がある。
	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし (2) 理由 所有者の理解が得られるよう、積極的なPRに努めていく。